

商標

- Microsoft、Windows、Windows Server、Hyper-V、SQL Serverまたはその他のマイクロソフト製品の名称 および製品名は、米国Microsoft Corporationの米国 およびその他の国における商標または登録商標です。
- VMware、VMware vSphere、VMware vCenter Server、VMware ESXiはBroadcom Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Veritas、Veritasロゴは、Veritas Technologies LLC または関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

本書の表記について

- Veritas Technologies LLC またはその関連会社を「Veritas社」と記載します。

免責事項

- このドキュメント内容は予告なしに変更される場合があります。また、発行元の許可なく、

前版からの更新については、**青字**で記載しています。
Backup Exec 22.xがサポートしている環境について紹介しています。

用語説明

- Backup Exec サーバ : Backup Exec Serverをインストールするサーバ
- クライアントサーバ : Backup Exec Agent for Windowsをインストールするリモートバックアップ対象のサーバ

サポートOS

Backup Exec 22.x がサポートしているOS一覧です。
OSにより、一部未サポートとなる機能がありますのでご注意ください。
Veritas社が公開する最新のSoftware Compatibility List (SCL)は以下のサイトからダウンロードしてください。
https://www.veritas.com/content/support/en_US/doc/BE_22_SCL

※注意

エフサステクノロジーズのサポート範囲と異なる場合があります。
アクセスの際に「www.Veritas.com」からユーザ/パスワードの確認があった場合はキャンセルをクリックしてください。

Microsoft® Windows Server® 2012 対象EditionおよびSP	備考
Microsoft® Windows Server® 2012 Foundation (SPなし)	サポートは終了しました。
Microsoft® Windows Server® 2012 Standard (SPなし)	サポートは終了しました。
Microsoft® Windows Server® 2012 Datacenter (SPなし)	Backup ExecサーバのSDRはサポート対象外 サポートは終了しました。
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 対象EditionおよびSP	備考
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Foundation (SPなし)	サポートは終了しました。
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard (SPなし)	サポートは終了しました。
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter (SPなし)	Backup ExecサーバのSDRはサポート対象外 サポートは終了しました。
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Storage Server (SPなし)	サポートは終了しました。
Microsoft® Windows Server® 2016 対象EditionおよびSP	備考
Microsoft® Windows Server® 2016 Standard (SPなし)	
Microsoft® Windows Server® 2016 Datacenter (SPなし)	Backup ExecサーバのSDRはサポート対象外
Microsoft® Windows® Storage Server 2016 (SPなし)	
Microsoft® Windows Server® 2019 対象EditionおよびSP	備考
Microsoft® Windows Server® 2019 Standard (SPなし)	
Microsoft® Windows Server® 2019 Datacenter (SPなし)	
Microsoft® Windows Server® 2022 対象EditionおよびSP	備考
Microsoft® Windows Server® 2022 Standard (SPなし)	
Microsoft® Windows Server® 2022 Datacenter (SPなし)	
Windows® PC対象およびSP	備考
Windows® 8.1 (SPなし)	クライアントサーバのみ利用可能 サポートは終了しました。
Windows® 10 (SPなし)	クライアントサーバのみ利用可能
Windows® 11 (SPなし)	クライアントサーバのみ利用可能

対応仮想環境

Backup Exec 22.x Agent for VMware and Hyper-V が対応している仮想環境の一覧です。
なお、仮想環境はエフサステクノロジーズがサポートする範囲に準拠します。
VMware: <https://jp.fujitsu.com/platform/server/primary/software/vmware/support/>
Hyper-V: <https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primary/software/windows/technical/hv/>

VMware vSphere 環境(※)	備考
VMware® ESXi™ 6.5 (Update なし ~ 3)	VMware Virtual SAN 6.5 (Update なし ~ 3)は利用可能 サポートは終了しました。
VMware® ESXi™ 6.7 (Update なし ~ 3)	VMware Virtual SAN 6.7 (Update 1 ~ 3)は利用可能
VMware® ESXi™ 7.0 (Update なし ~ 3)	VMware Virtual SAN 7.0 Update 2 のみ利用可能
VMware® ESXi™ 8.0 (Update なし ~ 2)	VMware Virtual SAN 8.0 (Update なし ~ 2)は利用可能
VMware® vCenter™ Server 6.5 (Update なし ~ 3)	サポートは終了しました。
VMware® vCenter™ Server 6.7 (Update なし ~ 3)	
VMware® vCenter™ Server 7.0 (Update なし ~ 3)	
VMware® vCenter™ Server Appliance 6.5 (Update なし ~ 3)	サポートは終了しました。
VMware® vCenter™ Server Appliance 6.7 (Update なし ~ 3)	
VMware® vCenter™ Server Appliance 7.0 (Update なし ~ 3)	
VMware® vCenter™ Server Appliance 8.0 (Update なし ~ 2)	

※注意事項

- Backup Exec サーバ が Windows Server 2022 で動作している場合、VADPバックアップは使用できません。

Microsoft Hyper-V環境	備考
Microsoft® Windows Server® 2012 Standard (SPなし)	サポートは終了しました。
Microsoft® Windows Server® 2012 Datacenter (SPなし)	サポートは終了しました。
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard (SPなし)	サポートは終了しました。
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter (SPなし)	サポートは終了しました。
Microsoft® Windows Server® 2016 Standard (SPなし)	
Microsoft® Windows Server® 2016 Datacenter (SPなし)	
Microsoft® Windows® Storage Server 2016 (SPなし)	
Microsoft® Windows Server® 2019 Standard (SPなし)	
Microsoft® Windows Server® 2019 Datacenter (SPなし)	
Microsoft® Windows Server® 2022 Standard (SPなし)	
Microsoft® Windows Server® 2022 Datacenter (SPなし)	

対応アプリケーション

Backup Exec 22.x Agent for Applications and Databases が対応しているアプリケーション一覧です。

Oracle	備考
Oracle 18c (18.10以降)	サポートは終了しました。
Oracle 19c	Backup Exec 22.1 の適用が必要
Oracle 21c	Backup Exec 22.1 の適用が必要
Microsoft SQL Server	備考
Microsoft® SQL Server™ 2014 (64-bit) SP3	
Microsoft® SQL Server™ 2016 (64-bit) SP2、SP3	SP3の利用にはBackup Exec 22.2 の適用が必要
Microsoft® SQL Server™ 2017 (64-bit) SPなし	
Microsoft® SQL Server™ 2019 (64-bit) SPなし	
Microsoft® SQL Server™ 2022 (64-bit) SPなし	Backup Exec 22.1 の適用が必要
Microsoft Exchange Server	備考
Microsoft® Exchange Server 2013 (64-bit) CU3, CU5, CU6, CU7, CU8, CU9, CU10, CU11, CU12, CU13, CU14, CU15, CU16, CU17, CU18, CU19, CU20, CU21, CU22, CU23	
Microsoft® Exchange Server 2013 (64-bit) SP1	
Microsoft® Exchange Server 2016 (64-bit) SPなし, CU1, CU2, CU3, CU4, CU5, CU6, CU7, CU8, CU9, CU10, CU11, CU12, CU13, CU14, CU15, CU16, CU17, CU18, CU19, CU20, CU21, CU22, CU23	
Microsoft® Exchange Server 2019 (64-bit) SPなし, CU1, CU2, CU3, CU4, CU5, CU6, CU7, CU8, CU9, CU10, CU11, CU12, CU13, CU14	
Microsoft Active Directory	備考
Microsoft® Windows Server® 2012 (64-bit) SPなし	サポートは終了しました。
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 (64-bit) SPなし	Windows 2012 R2以降のOSにBackup Execがインストールされている場合のみGRTをサポート サポートは終了しました。
Microsoft® Windows Server® 2016 (64-bit) SPなし	Windows 2016以降のOSにBackup Execがインストールされている場合のみGRTをサポート
Microsoft® Windows Server® 2019 (64-bit) SPなし	Windows 2019以降のOSにBackup Execがインストールされている場合のみGRTをサポート
Microsoft® Windows Server® 2022 (64-bit) SPなし	Windows 2019以降のOSにBackup Execがインストールされている場合のみGRTをサポート Backup Exec 22.1 の適用が必要

※注意事項

- 1) Microsoft SharePoint 環境は、エフサステクノロジーズではサポート対象外です。
- 2) Windows Server Failover Clustering(WSC)環境のアプリケーションについてサービス稼働時のバックアップをサポートしていません。詳細については別紙「Backup Exec 22 留意・制限事項」をご確認ください。
- 3) SQL Server AlwaysON環境はサポート対象外です。
- 4) Exchange DAG(Database Availability Group)環境はサポート対象外です。
- 5) エフサステクノロジーズでのサポート範囲の詳細については、弊社営業までお問い合わせください。

Deduplication Optionについて

- 1) 重複排除用ディスクストレージを保存するための場所として、専用のボリュームを用意することを推奨します。
- 2) 重複排除用ディスクストレージの容量が4TB以下の場合、最低4GBのメモリが必要です。
重複排除用ディスクストレージの容量が4TB以上ある場合は1TBごとに1GBのメモリが必要です。
- 3) 32bit OS の場合でも、バックアップ対象側で重複排除が可能です。

製品要件

メモリ

下記数値を目安に、使用する製品が必要とするメモリを加算してください。

使用する製品	必要となるメモリ	備考
Veritas Backup Exec 22.x	1GB	必須
	2GB以上	推奨
Veritas Backup Exec 22.x Deduplication Option	4GB以上	必須 CPU: 最低4つ以上のコア、8つのコアを推奨
	1.5GB	クライアント重複排除をする場合、クライアントサーバに必要
その他	256MB	各オプション、エージェント製品毎

必須ソフトウェア

必要となる製品	備考
Microsoft® .NET Framework 4.8	Backup Exec サーバに必須 注意: Windows の一部のバージョンでは.NET Framework 4.8をサポートしません。異なるバージョンの .NET Framework を使う必要があるオペレーティングシステムで Backup Exec インストールプログラムを実行すると、Backup Exec はインストールを遮断し、必要なバージョンの .NET Framework をインストールするように指示するエラーメッセージが表示されます。

ハードディスク容量

使用する製品	必要となる容量	備考
Veritas Backup Exec 22.x	2.5GB	インストールに必要な容量
Backup Exec データベースおよびカタログ格納先	バックアップ頻度に応じた容量	重複排除用ディスクストレージは専用のボリュームに最低20%(5GB以上)の空き容量が必要

インスタントリカバリ機能

インスタントリカバリ機能を利用する場合、以下の要件を満たしてください。

インスタントリカバリ先	要件
Microsoft Hyper-V 環境	Backup ExecサーバでSMB 共有ができること
VMware vSphere 環境	Backup ExecサーバにNFSの役割がインストールされていること

サポートクラウド環境

Backup Exec 22.x がサポートしているクラウド環境一覧です。

クラウド環境

FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O IaaS

※注意事項

利用する際は以下の条件があります。

- サポートしている製品は以下です。
 - Veritas Backup Exec Server
 - Veritas Backup Exec Agent for Windows
 - Veritas Backup Exec Agent for VMware and Hyper-V
 - Veritas Backup Exec Agent for Applications and Databases
 - Veritas Backup Exec Deduplication Option
- FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O IaaS 上および、Veritas Backup Exec 22.x がサポートしているOSのみ利用可能です。
- FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O IaaS 環境の仮想マシンをBackup Execサーバとする場合のバックアップ対象は、FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O IaaS 環境の仮想マシンのみです。
- バックアップデータ格納先は、仮想マシンに接続しているローカルディスク(ディスクストレージ)または、重複排除用ディスクストレージとして使用のみです。
- 本環境で使用するにあたり、別紙「Backup Exec 22 留意・制限事項」も参照してください。

サポートバックアップ装置

Backup Exec 22.x が、サポートしているバックアップ装置一覧です。

分類	バックアップ装置(※)	規格	I/F	備考		
内蔵	PY-LT411	LT04ユニット	SAS	サポート対象OSは以下のとおりです。 *Windows Server 2012-R2 Standard		
	PY-LT511	LT05ユニット	SAS	*Windows Server 2016 Standard		
	PY-LT611	LT06ユニット	SAS	サポート対象OSは以下のとおりです。 *Windows Server 2012-R2 Standard *Windows Server 2016 Standard *Windows Server 2019 Standard/Datacenter *Windows Server 2019 Standard/Datacenter		
	PY-LT611A					
	PY-LT711	LT07ユニット	SAS	サポート対象OSは以下のとおりです。 *Windows Server 2012-R2 Standard *Windows Server 2016 Standard *Windows Server 2019 Standard/Datacenter *Windows Server 2022 Standard/Datacenter		
	PY-LT811	LT08ユニット	SAS	サポート対象OSは以下のとおりです。 *Windows Server 2016 Standard *Windows Server 2019 Standard/Datacenter *Windows Server 2022 Standard/Datacenter		
	PY-LT911	LT09ユニット	SAS	サポート対象OSは以下のとおりです。 *Windows Server 2016 Standard *Windows Server 2019 Standard/Datacenter *Windows Server 2022 Standard/Datacenter		
	データカートリッジ ドライブ	PY-RD111	-	USB2.0 USB3.0	1)Veritas社からドライバは提供されていないため、OS標準のドライバを利用 2)複数のデータカートリッジにまたがるバックアップデータでのSimplified Disaster Recoveryはサポート対象外 3)カートリッジを抜いてOS再起動を行う運用の場合、「MBRパーティション」のカートリッジを利用してください。	
		PY-RD112				
		PY-RD113				
	外付け	デデューブ アプライアンス	ETERNUS CS800 S7	-	Ethernet	CIFS接続をサポート。 OST(Open Storage)を利用する場合は、エフサステクノロジーズ営業に問い合わせください
			ETERNUS CS800 M1			
テープライブラリ装置		ETERNUS LT20 S2	LT0 Ultrium3 ハーフハイト テープドライブ	SAS FC	LT07/LT08のメディアをサポート ただし、LT07 Type Mメディアはサポート対象外 LT08/LT09のメディアをサポート	
			LT0 Ultrium4 ハーフハイト テープドライブ			
			LT0 Ultrium5 ハーフハイト テープドライブ			
			LT0 Ultrium6 ハーフハイト テープドライブ			
			LT0 Ultrium7 ハーフハイト テープドライブ			
			LT0 Ultrium8 ハーフハイト テープドライブ			
			LT0 Ultrium9 ハーフハイト テープドライブ			
			LT0 Ultrium3 ハーフハイト テープドライブ			
		ETERNUS LT40 S2	LT0 Ultrium4 ハーフハイト テープドライブ	SAS FC	LT07/LT08のメディアをサポート ただし、LT07 Type Mメディアはサポート対象外	
			LT0 Ultrium5 ハーフハイト テープドライブ			
			LT0 Ultrium6 ハーフハイト テープドライブ			
			LT0 Ultrium7 ハーフハイト テープドライブ			
		ETERNUS LT60 S2	LT0 Ultrium4 フルハイト テープドライブ	SAS FC	LT07/LT08のメディアをサポート ただし、LT07 Type Mメディアはサポート対象外	
			LT0 Ultrium5 フルハイト テープドライブ			
LT0 Ultrium6 ハーフハイト テープドライブ						
LT0 Ultrium7 ハーフハイト テープドライブ						
ETERNUS LT140	LT0 Ultrium6 ハーフハイト テープドライブ	SAS FC	LT07/LT08のメディアをサポート ただし、LT07 Type Mメディアはサポート対象外 LT08/LT09のメディアをサポート			
	LT0 Ultrium7 ハーフハイト テープドライブ					
	LT0 Ultrium8 ハーフハイト テープドライブ					
	LT0 Ultrium9 ハーフハイト テープドライブ					

-以上-

【更新履歴】

初版	2022/10/03	新規作成
第2版	2022/10/13	「サポートバックアップ装置」を更新しました。
第3版	2023/01/13	「サポートOS」「対応仮想環境」「サポートバックアップ装置」を更新しました。
第4版	2023/02/10	「サポートバックアップ装置」を更新しました。
第5版	2023/04/03	「対応アプリケーション」を更新しました。
第6版	2023/02/10	「対応アプリケーション」を更新しました。
第7版	2023/07/14	「対応アプリケーション」を更新しました。
第8版	2023/09/15	「対応仮想環境」を更新しました。
第9版	2023/10/13	「サポートOS」「対応仮想環境」「対応アプリケーション」「サポートバックアップ装置」を更新しました。
第10版	2023/12/15	「対応仮想環境」を更新しました。
第11版	2024/03/15	「サポートバックアップ装置」を更新しました。
第12版	2024/04/01	ブランド表記の変更
第13版	2024/05/17	「対応アプリケーション」を更新しました。